

令和3年度（2021年度）警察官採用試験（警察官A）

※ 答案用紙の課題欄には「**薬物事犯対策**」と記入してください。

論文課題

令和2年（2020年）における全国の薬物事犯の検挙人員は、1万4,079人と前年に比べて約700人増加し、このうち覚醒剤事犯と大麻事犯の検挙人員は、全体の9割以上を占めている。

次に掲げる覚醒剤事犯と大麻事犯の主な特徴を踏まえ、薬物事犯を減少させるためには、どのような対策を行っていくべきか、あなたの考えを述べなさい。

【覚醒剤事犯と大麻事犯の主な特徴】

1 覚醒剤事犯

- (1) 全薬物事犯の検挙人員の60.2%を占めている。
- (2) 暴力団構成員等が検挙人員の4割以上を占めている。
- (3) 30歳代及び40歳代の人口10万人当たりの検挙人員がそれぞれ他の年齢層に比べて多い。
- (4) 再犯者の占める割合が高い。

2 大麻事犯

- (1) 検挙人員は7年連続で増加している。
- (2) 全薬物事犯の検挙人員の35.8%を占めている。
- (3) 20歳未満及び20歳代の人口10万人当たりの検挙人員がそれぞれ他の年齢層に比べて多い。
- (4) 初犯者の占める割合が高い。

（出典：警察庁「令和2年における組織犯罪の情勢」）

※ 答案用紙は表裏750字の1,500字詰めとなっています。1,000字程度で答案を作成してください。

※ 下書きのための用紙は配布しませんので、この用紙の裏面を使ってください。

※ この論文課題用紙は持ち帰ることができます。